事務事業評価シート2（一般事業）

1 基本情報

		事業番号	0350/500515/07/00		事業の類型		4
年度	19	事務事業名	わくわくチャレンジ学習事業	作成日	平成21年1月20日	重要度	4
予算事業名			わくわくチャレンジ学習事業	担当部課名	学校教育課		
政策名			愛着と生きがいを育むまちづくり				
施策名			小・中学校教育	実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために（具体的に）		小・中学校の児童・生徒				
	誰（何）を対象として		小・中学校の児童・生徒				
	意図（どのような状態にしたいのか）		「わくわくチャレンジ学習ドリル」を作成し、このドリルを使って児童・生徒の基礎学力の定着を図る。				

2 事業の概要　Do

実施の概要		特色ある学校づくりや教職員の研究調査による「わくわくチャレンジ学習ドリル」を作成し、このドリルを使って児童・生徒の基礎学力の定着を図る。				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	研究調査	回	30	10	10	1

3 投入資源

会計区分：一般会計　　事業費単位：円

インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
	主幹以下職員	0.205	0.280	136.6	0.280	100.0	0.100	35.7	
	臨時職員			－		－		－	
支出内訳	人件費	2,778,188	3,121,074	112.3	3,175,865	101.8	1,558,772	49.1	
	事業費	3,907,525	2,210,850	56.6	3,115,250	140.9	1,600,000	51.4	
	合計	6,685,713	5,331,924	79.8	6,291,115	118.0	3,158,772	50.2	
財源内訳	国庫支出金		0	－	0	－	0	－	
	県支出金	1,600,000	0	－	0	－	0	－	
	市債		0	－	0	－	0	－	
	その他		0	－	0	－	0	－	
	一般財源	5,085,713	5,331,924	104.8	6,291,115	118.0	3,158,772	50.2	
	合計	6,685,713	5,331,924	79.8	6,291,115	118.0	3,158,772	50.2	

4 評価指標

【有効性】

指標名1									
指標説明（式）									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度（計画）	前年比	備考
	目標			－		－		－	
	実績			－		－			

指標名2									
指標説明（式）									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度（計画）	前年比	備考
	目標			－		－		－	
	実績			－		－			

【効率性】

指標名１		生徒１人当りのコスト							
指標説明（式）		決算額÷児童・生徒数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度（計画）	前年比	備考
円	実績	1,288	869	67.5	1,257	144.5	652	51.9	

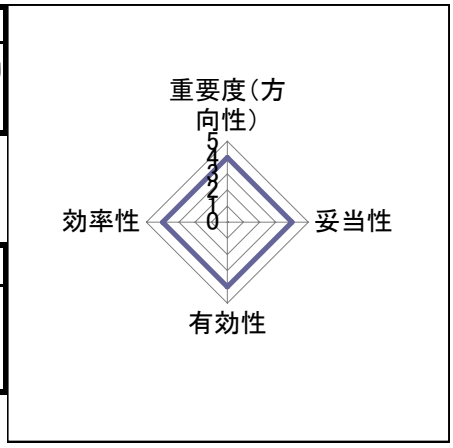
指標名２									
指標説明（式）									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度（計画）	前年比	備考
	実績			－		－		－	

５　事業の評価（19年度実績）　Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	１次評価（係長）	２次評価（課長）
妥当性	目的の妥当性	市内小学校児童に見合った教育指導に応じた学習の研究	4	4
	市民ニーズ	市内小学校児童に見合った教育指導の独自性の推進		
有効性	成果目標（改善）達成度	市の教育方針に添った教育目標の手段として実施できた。	4	4
	市民サービス	学習能力の向上を図ることに努めた。		
効率性	コストの節減	コストに見合った成果の実施	4	4
	手段の最適性	教職員の研究協議によりドリルを作成した。		

６　課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	期待する目標	作成したドリルの活用により児童の学習能力が期待したとおりの向上が図れるか。



７　事業の改革改善　Action

（１）評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	成果の向上	より効果的･効率的ドリルの作成

H19→H20予算反映額	△ 1,515,250

（２）20年度の実施方針

作成したドリルの活用により児童の学習能力の向上を図る。

検討の有無	ー
総合指標	22